

姫路市市民活動 協働推進事業計画について

1. 施策ごとの評価

◎評価の指標・判定基準

評価	指標	判定基準
S	予定を上回る	A判定以上が100%、かつ、S判定が66%以上
A	概ね予定どおり	B判定以上が90%以上、かつ、A判定以上が66%以上
B	やや予定を下回る	B判定以上が66%以上
C	予定を下回る	上記以外

(1) 施策ごとの評価

基本指針	施策名	H28	H29	H30	R1				
		評価	評価	評価	評価				
		評価の説明		評価の説明					
1 相互理解が進む仕組みづくりを行います	1-①市民活動への市民参加の促進	A	31事業のうち26事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S3、A23、B5、C0、未実施0)	A	31事業のうち23事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S3、A20、B7、C1、未実施0)	A	31事業のうち24事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S7、A17、B6、C1、未実施0)	B	31事業のうち13事業で自己評価がB、3事業がCであることから、施策全体の評価をBとした。 (S3、A12、B13、C3、未実施0)
	1-②行政職員の意識向上	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)
	1-③交流機会の創出と対話の促進	A	5事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A5、B0、C0、未実施0)	A	5事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A5、B0、C0、未実施0)	A	5事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A5、B0、C0、未実施0)	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)
2 情報の共有を進めます	2-①体系的な情報整理と積極的な情報の公開・収集・提供	A	9事業のうち8事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A8、B1、C0、未実施0)	A	9事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A9、B0、C0、未実施0)	A	9事業の全事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S1、A8、B0、C0、未実施0)	A	9事業のうち6事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S1、A5、B3、C0、未実施0)
3 市民活動等の拠点となる場の充実に努めます	3-①市民活動・ボランティアサポートセンターの充実	A	5事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A5、B0、C0、未実施0)	A	5事業の全事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S1、A4、B0、C0、未実施0)	A	5事業の全事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S1、A4、B0、C0、未実施0)	A	5事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A5、B0、C0、未実施0)
	3-②地域における市民活動等の場の充実	A	2事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A2、B0、C0、未実施0)	A	2事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A2、B0、C0、未実施0)	A	2事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A2、B0、C0、未実施0)	A	2事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A2、B0、C0、未実施0)
	3-③公共施設利用の促進	A	3事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B0、C0、未実施0)	A	3事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B0、C0、未実施0)	A	3事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B0、C0、未実施0)	A	3事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B0、C0、未実施0)
4 担い手づくり(団体、人材育成)に努めます	4-①学習機会等(研修会、セミナー等)の提供	B	9事業のうち1事業で自己評価がB、1事業がCであることから、施策全体の評価をBとした。 (S0、A7、B1、C1、未実施0)	A	9事業のうち7事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S1、A6、B2、C0、未実施0)	B	9事業のうち2事業で自己評価がB、1事業がCであることから、施策全体の評価をBとした。 (S0、A6、B2、C1、未実施0)	B	9事業のうち1事業で自己評価がB、2事業がCであることから、施策全体の評価をBとした。 (S2、A4、B1、C2、未実施0)
	4-②担い手の確保と育成	A	26事業のうち20事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S2、A18、B6、C0、未実施0)	A	26事業のうち19事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S3、A16、B6、C1、未実施0)	A	26事業のうち19事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S4、A15、B7、C0、未実施0)	A	26事業のうち19事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S3、A16、B5、C2、未実施0)

基本指針	施策名	H28	H29	H30	R1				
		評価	評価の説明	評価	評価の説明	評価	評価の説明		
5 市民活動支援機能の充実を図ります	5-①相談窓口の充実・協働関係機関との連携強化	A	4事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B0、C0、未実施0)	A	4事業の全事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S2、A2、B0、C0、未実施0)	A	4事業の全事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S1、A3、B0、C0、未実施0)	A	4事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B0、C0、未実施0)
	5-②様々な財政的支援の活用	A	4事業のうち3事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B1、C0、未実施0)	A	4事業のうち3事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B1、C0、未実施0)	A	4事業のうち3事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B1、C0、未実施0)	A	4事業のうち3事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B1、C0、未実施0)
6 民間相互の協働を推進します	6-①地域における協働の推進	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)	B	5事業のうち2事業で自己評価がBであることから、施策全体の評価をBとした。 (S0、A3、B2、C0、未実施0)	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)
	6-②多様な主体との協働の推進	A	4事業のうち3事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B1、C0、未実施0)	A	4事業のうち3事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B1、C0、未実施0)	A	4事業のうち3事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B1、C0、未実施0)	A	4事業のうち3事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A3、B1、C0、未実施0)
7 行政との協働を推進します	7-①市民意識の醸成と行政職員の意識の改革	A	5事業の全事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A5、B0、C0、未実施0)	B	5事業のうち2事業で自己評価がBであることから、施策全体の評価をBとした。 (S0、A3、B2、C0、未実施0)	A	5事業のうち4事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A4、B1、C0、未実施0)	A	5事業のうち4事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S1、A3、B1、C0、未実施0)
	7-②協働を推進するための仕組みづくり	A	7事業のうち5事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A5、B2、C0、未実施0)	B	7事業のうち3事業で自己評価がBであることから、施策全体の評価をBとした。 (S0、A4、B3、C0、未実施0)	A	7事業のうち5事業で自己評価がAであることから、施策全体の評価をAとした。 (S0、A5、B2、C0、未実施0)	A	7事業のうち5事業で自己評価がA以上であることから、施策全体の評価をAとした。 (S1、A4、B2、C0、未実施0)

2. 年度別集計表

【自己評価の指標について】

各事業をS～Cの4段階で総合的に評価

S：予定を上回る A：概ね予定どおり B：やや予定を下回る C：予定を下回る

(1) 平成28年度の取り組みに対する自己評価

基本指針	自己評価（達成度）				未実施事業	事業総数
	S	A	B	C		
1 相互理解が進む仕組みづくりを行います	3	32	6	0	0	41
2 情報の共有を進めます	0	8	1	0	0	9
3 市民活動等の拠点となる場の充実に努めます	0	10	0	0	0	10
4 担い手（団体、人材育成）に努めます	2	25	7	1	0	35
5 市民活動支援機能の充実に努めます	0	7	1	0	0	8
6 民間相互の協働を推進します	0	7	2	0	0	9
7 行政との協働を推進します	0	10	2	0	0	12
計	5	99	19	1	0	124
割合	4.0%	79.9%	15.3%	0.8%	0%	100.0%

(2) 平成29年度の取り組みに対する自己評価

基本指針	自己評価（達成度）				未実施事業	事業総数
	S	A	B	C		
1 相互理解が進む仕組みづくりを行います	3	29	8	1	0	41
2 情報の共有を進めます	0	9	0	0	0	9
3 市民活動等の拠点となる場の充実に努めます	1	9	0	0	0	10
4 担い手（団体、人材育成）に努めます	4	22	8	1	0	35
5 市民活動支援機能の充実に努めます	2	5	1	0	0	8
6 民間相互の協働を推進します	0	6	3	0	0	9
7 行政との協働を推進します	0	7	5	0	0	12
計	10	87	25	2	0	124
割合	8.1%	70.1%	20.2%	1.6%	0.0%	100.0%

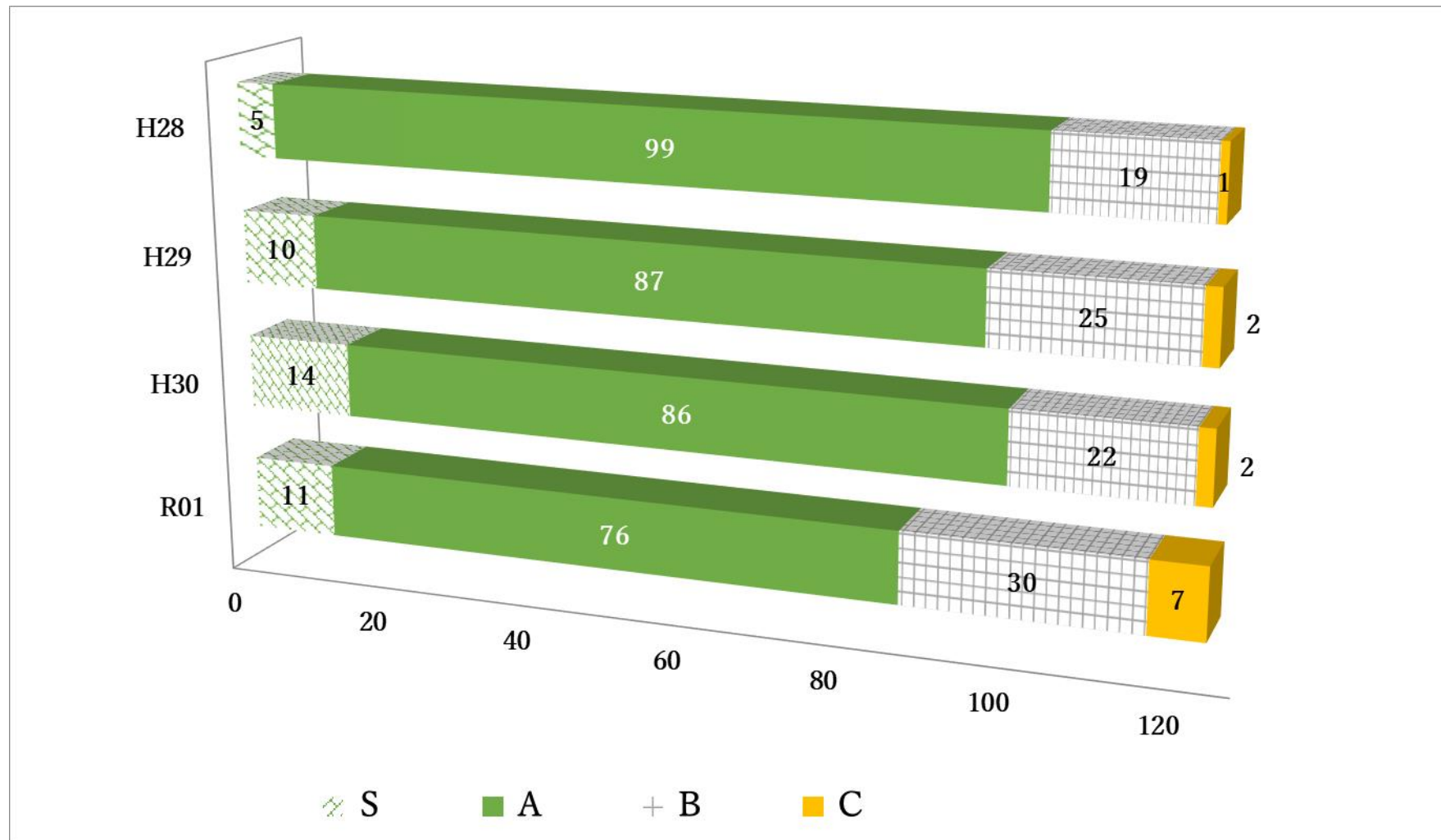
(3) 平成30年度の取り組みに対する自己評価

基本指針	自己評価（達成度）				未実施事業	事業総数
	S	A	B	C		
1 相互理解が進む仕組みづくりを行います	7	26	7	1	0	41
2 情報の共有を進めます	1	8	0	0	0	9
3 市民活動等の拠点となる場の充実に努めます	1	9	0	0	0	10
4 担い手（団体、人材育成）に努めます	4	21	9	1	0	35
5 市民活動支援機能の充実に努めます	1	6	1	0	0	8
6 民間相互の協働を推進します	0	7	2	0	0	9
7 行政との協働を推進します	0	9	3	0	0	12
計	14	86	22	2	0	124
割合	11.3%	69.4%	17.7%	1.6%	0.0%	100.0%

(4) 令和元年度の取り組みに対する自己評価

基本指針	自己評価（達成度）				未実施事業	事業総数
	S	A	B	C		
1 相互理解が進む仕組みづくりを行います	3	20	15	3	0	41
2 情報の共有を進めます	1	5	3	0	0	9
3 市民活動等の拠点となる場の充実に努めます	0	10	0	0	0	10
4 担い手（団体、人材育成）に努めます	5	20	6	4	0	35
5 市民活動支援機能の充実に努めます	0	7	1	0	0	8
6 民間相互の協働を推進します	0	7	2	0	0	9
7 行政との協働を推進します	2	7	3	0	0	12
計	11	76	30	7	0	124
割合	8.9%	61.3%	24.2%	5.6%	0.0%	100.0%

(5) 自己評価の推移



3. 進捗状況及び今後の取組み

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
<p>1 相互理解が進む仕組みづくりを行います</p>	<p>1-① 市民活動への市民参加の促進</p> <p>1. 情報提供 2. 相談 3. 啓発</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>概ね計画通り進捗している。</p> <p>1-①-1、2 (情報提供)(相談) 個人ボランティア登録制度の運用について、さまざまな分野で多数活動していただいているが、幅広い世代での参加や高齢化等の面で課題がある。また、登録ボランティアのデータベース化の検討状況については、市民活動・ボランティアサポートセンターの団体登録、個人ボランティア登録のデータ整備を平成29年度に行っている。 新たなソーシャルメディアの活用とし</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>概ね計画通り進捗している。</p> <p>1-①-1、2 (情報提供)(相談) 個人ボランティア登録制度の運用について、一部制度での登録者数の漸減傾向や、高齢化傾向などの課題がある。 また、登録ボランティアのデータベース化の検討・実施については、募集を行う行政担当課ごとに活動内容や募集規模等が大きく異なり、また、ボランティア参加者側にも、様々なボランティア活動に参加している人から、自分の特技や趣味に特化した活動を</p>	<p>個人ボランティア登録制度の運用については、ボランティア活動への幅広い世代での参加等の面で課題があるため、若年層への働きかけ等、市民活動・ボランティアサポートセンターで問題のサポートを進める。 リニューアルした市民活動ネットひめじについては、更に使いやすく機能を充実させ、活用促進に努める。</p>

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
<p>1 相互理解が 進む仕組み づくりを行 います (つづき)</p>	<p>1-① 市民活動への市民参加 の促進 (つづき)</p>			<p>て、平成 30 年 6 月か ら運用された姫路市 公式アプリ「ひめじ プラス」において、 設定により特に知ら せたい情報のプッシ ュ通知、スマートフ ォンで撮影した写真 を添付した市政に関 するご意見、ご提案 の投稿機能、利用者 を対象としたアンケ ート実施機能等が可 能となっている。</p> <p>1-①-3 (啓発) 夏休みの学生ボラン ティア体験学習の企 画・受入先の検討・ 実施状況として平成 30 年度より学生を 対象とした「ひめじ 夏のボランティア体 験」事業を実施した。</p>			<p>している人までお り、現在のところ、 個人ボランティアの 一括管理は難しいと 考えているが、ボラ ンティアの募集に関 する情報収集、情報 提供に努めたい。 市民活動ネットひめ じの利用 P R とし て、令和元年度にホ ームページのリニュー ールを行い、市民 への情報提供を行っ ている。</p> <p>1-①-3 (啓発) ボランティア初心者 向けのメニューとし て、令和元年度には “まず体験する”こ とを重視した「はじ めのイッポ」を実施 した。</p>	<p>ボランティア初心者や若年層への 啓発として、ボランティア活動が魅 力的な学びの場となるよう努力し、 興味や得意分野に訴えるよう努め る。画一的な P R 方法でなく、催し や P R 内容によっては、若年層に特 化した分野にするなど、ターゲット を絞った内容を取り入れ、中高の学 科、部活動、トライやるウィーク、 大学生の実習に取り入れるなど進</p>

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
1 相互理解が 進む仕組み づくりを行 います (つづき)	1-① 市民活動への市民参加 の促進 (つづき)							路選択にも生かせるような内容を 検討すること、夏休み等を利用して 参加できるような手法も検討する よう全庁的に促していきたい。
	1-② 行政職員の意識の向上 1. 職員研修の充実 2. ボランティアや地 域活動への職員参 加の促進 3. 市民活動団体の情 報収集・提供、相 談 4. 市民活動及び協働 の推進に関する施 策の総括 (隔年)	A	A	1-②-1 (職員研修の充実) 新採用職員研修のメ ニューへの組み込み や人権文化教養講座 を活用し、職員研修 の開催などを行って いる。 1-②-2 (ボランティアや地 域活動への職員参加 の促進) 新採用職員研修など でボランティアや地 域活動への理解を深 め、職員参加を促し ている。	A	A	1-②-1 (職員研修の充実) 新採用職員研修のメ ニューへ組み込み、 職員研修を開催して いる。 1-②-2 (ボランティアや地 域活動への職員参加 の促進) 新採用職員研修や、 NPO・ボランティ ア通信等を庁内掲示 板で発信すること で、ボランティアや 地域活動への職員参 加を促している。	新採用職員研修などを活用し、若年 者層への意識付けを行い、地域活動 への参加を積極的に促す仕組みの 検討、市民との協働について、理解 をより一層深めることができるよ う研修内容の充実を図る。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
<p>1 相互理解が進む仕組みづくりを行います (つづき)</p>	<p>1-② 行政職員の意識の向上 (つづき)</p>			<p>1-②-3, 4 (市民活動団体の情報収集・提供、相談、市民活動及び協働の推進に関する施策の総括) 市民活動及び協働の推進に関する職員アンケートを実施した (平成30年2月～3月)。アンケートを通して若年層を中心に市民活動への意識が低いこと等の課題が出てくる一方、年齢を重ねるにつれて市民活動・ボランティア活動への参加経験も上昇し、意識も変わってきている事がわかった。またアンケート自体の回収率が低かったなど課題もあった。回収率については、原則庁内での電子申請によ</p>			<p>1-②-3, 4 (市民活動団体の情報収集・提供、相談、市民活動及び協働の推進に関する施策の総括) 毎年度の進捗状況調査に加え、平成30年度、令和2年度には市民活動及び協働の推進に関する職員アンケートを実施し、現状や課題の把握、情報の共有を行っている。</p>	<p>職員アンケートや毎年度の進捗状況調査を行っていく過程で、庁内全体で職員の協働意識が向上するよう働きかけを継続する。</p>

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
1 相互理解が進む仕組みづくりを行います (つづき)	1-② 行政職員の意識の向上 (つづき)			ることとしたこと、 市民活動、協働自体 への意識が低いこと が課題として浮き彫 りとなった。				
	1-③ 交流機会の充実と対話 の促進 1. ひめじおんまつり 等の連携交流会の 開催 2. 市民活動に関する 行事の開催協力 3. 市民活動・ボラン ティアサポートセ ンターの相談機能 の充実 4. 市民活動団体等へ のアンケートシス テムの確立 (隔年)	A	A	1-③-4 (市民活動団体等へ のアンケートシステ ムの確立) センター登録団体、 登録個人ボランティ ア及び男女共同参画 推進センター、国際 交流センター登録団 体に実施した。結果 では、団体メンバー の高齢化が進んでお り、時代の担い手育 成、会員募集のサポ ート等が必要である こと、情報等は紙媒 体での情報発信が有 効であること等の分 析結果が出ている。	A	A	1-③-2 (市民活動に関する 行事の開催協力) NPO・ボランティ ア通信、市民活動ネ ットひめじ、広報ひ めじ、Facebook 等、 各種広報媒体で情報 発信を実施している が、効率的な情報収 集、情報発信につい て更なる検討が必要 である。 1-③-4 (市民活動団体等へ のアンケートシステ ムの確立) 平成 30 年度、令和 2	従来の広報活動に加え、姫路市公式 アプリ「ひめじプラス」の活用の充 実や、外部ネットによる広報（地域 の情報サイト）の活用等の検討を進 める。 NPO 法人やボランティア団体へ の定期的なアンケートを実施する ことで、団体の意識やニーズを把握 し、現在実施している事業の効果の

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
1 相互理解が 進む仕組み づくりを行 います (つづき)	1-③ 交流機会の充実と対話 の促進 (つづき)						年度に、市民活動・ボランティアサポートセンター登録団体、登録個人ボランティア及び男女共同参画推進センター、国際交流センター登録団体を対象にアンケートを実施し、現状や課題の把握を行った。	検証により、今後の事業方針等に活かせるよう努める。
2 情報の共有 を進めます	2-① 体系的な情報整理と積 極的な情報の公開・収 集・提供 1. 市民活動ネットひ めじの運用、利用 促進 2. 市民活動や協働に 関する情報の収 集、提供 3. 会議等の公開・公 募委員、市民意見 の募集制度等の利 用PR	A	A	概ね計画通り進捗し ている。 2-①-1 (市民活動ネットひ めじの運用、利用促 進) 市民活動ネットひめ じでの情報提供は、 平成 29 年度の更新 回数は前年度に比べ て増加しており、情 報発信機能は充実し てきているものと考えられる。	A	A	概ね計画通り進捗し ている。 2-①-1 (市民活動ネットひ めじの運用、利用促 進) 令和元年度には、市 民活動ネットひめじ のリニューアルの実 施、新型コロナウイルス感染症による事業中止等のため、更新回数が減少した。	登録団体が自身の活動報告やイベント情報を積極的に広報することにより、団体の活動を活発化し、市民の活動への参加促進にもつながるため、市民活動ネットひめじを利用する団体のサポート強化、及び利用団体の拡充に努める。 また、スマートフォン等の普及への対応など、様々なソーシャルメディアの特徴等を把握し、活用を検討していく。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
2 情報の共有を進めます (つづき)	4. 新たなソーシャルメディアの活用の検討							
3 市民活動等の拠点となる場の充実に努めます	3-① 市民活動・ボランティアサポートセンターの充実 1. センター事業の充実とコーディネート機能の強化 2. センターの利用PR 3. 市民活動・ボランティアサポートセンター運営会議の活用 4. ひめじおんまつり等の連携交流会の開催※再掲 5. 既存の支援機関との連携、協力	A	A	概ね計画通り進捗している。 3-①-1 (センター事業の充実とコーディネート機能の強化) センター開設日時等の検討について、現在の日曜日等の利用状況、登録団体からのアンケート結果などを参考に、センター休館日を現在の月曜日から、日曜日、祝日の変更を検討している。	A	A	概ね計画通り進捗している。 3-①-1 (センター事業の充実とコーディネート機能の強化) 令和元年度には、センター開設10周年により、記念事業としてフォーラムを開催した。	視察や研修等により情報収集するとともに、アンケート結果等をもとにして、今後のセンターの機能を検討し、利用者の利便性の向上に繋げる。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
3 市民活動等の拠点となる場の充実に努めます (つづき)	3-② 地域における市民活動等の場の充実 1. 公民館や小学校等の公共施設等を活用した地区拠点の充実 2. 地域ブロックで組織された地域づくり推進協議会の活用	A	A	3-②-1 (公民館や小学校等の公共施設等を活用した地区拠点の充実) 平成 27 年度から公民館などの公共施設に地区連合自治会が雇用する行政事務補助員を配置する人件費相当分を計上し、人的支援を行うことで自治会の組織や活動の充実と強化を図っている。 平成 29 年度から庁内において概ね小学校区単位での地域活動の場の充実に向けた既存公共施設である公民館を地域活動の拠点施設として、更なる活用を進める方向性を提示し、今後も推進していくこととする。	A	A	3-②-1 (公民館や小学校等の公共施設等を活用した地区拠点の充実) 平成 29 年度より、地域活動の場の在り方について庁内で協議を行ってきたが、令和元年度より、地域活動充実支援事業を実施し、市内 3 地区において、公民館等の公共施設の活用、検討を進めている。	公共施設等を活用した地区拠点を充実させるため、都市部、農村部などの地域の多様な特性、ニーズを踏まえた上で、それぞれの地域に必要な機能を備えることができるよう、検討を進める。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
<p>3 市民活動等の拠点となる場の充実に努めます (つづき)</p>	<p>3-② 地域における市民活動等の場の充実(つづき)</p>			<p>3-②-2 (地域ブロックで組織された地域づくり推進協議会の活用) 旧姫路市内で組織されていた10地区の地域づくり推進協議会との連携に努めるほか、合併旧4町の地域においても平成28年度に地域づくり推進協議会が設立されている。</p>			<p>3-②-2 (地域ブロックで組織された地域づくり推進協議会の活用) 平成28年度に設置された旧4町の地域づくり推進協議会も含め、市内14の地域づくり推進協議会において、事務局機能を地域事務所・出張所が支援し、それぞれの取り組みを市内SNSにより共有している。</p>	<p>引き続き、地域づくり推進協議会の事務局機能支援等を行い、協議会の活用に努める。</p>
	<p>3-③ 公共施設等の利用の促進</p> <p>1. 市民活動団体の登録制度の運用、支援内容の充実 2. 利用可能施設の情報収集、紹介</p>	<p>A</p>	<p>A</p>		<p>A</p>	<p>A</p>		

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
4 担い手づくり（団体、人材育成）に努めます	4-① 学習機会等（研修会、セミナー等）の提供 1. 研修会・セミナー等の充実、情報収集・提供 2. 市政出前講座の実施	B	A	概ね計画通り進捗している。 4-①-1 （研修会・セミナー等の充実、情報収集・提供） 平成 29 年度からシニアのための地域活動人材養成講座を行った。座学と併せてフィールドワークを実施し、地域活動の事例を現地で見てもらうなど、活動における課題発見、解決の手法を学ぶ内容となっている。 4-①-2 （市政出前講座の実施） 本市の様々な事務事業についての出前講座を多くの市民の方々に利用していた	B	B	概ね計画通り進捗している。 4-①-1 （研修会・セミナー等の充実、情報収集・提供） 概ね計画どおり進捗しているが、一部、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会を中止しているものもある。 4-①-2 （市政出前講座の実施） 本市の様々な事務事業についての出前講座を多くの市民の方々に利用していた	研修会やセミナーの開催については、新型コロナウイルス感染症等の影響も考慮し、中止した場合の代替案や、新たな生活様式に配慮した形態での事業内容を検討する。 市政出前講座については、実施後に受講団体の代表者を対象に、今後取り組んでほしいテーマ等アンケートを実施し、利用者のニーズ把握に努めており、今後も継続して取り組む。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
4 担い手づくり（団体、人材育成）に努めます （つづき）	4-① 学習機会等（研修会、セミナー等）の提供（つづき）			だいているが、回数、受講者数ともに減少している。			だいており、平成 29 年度には減少していた講座回数及び受講者数も、平成 30 年、令和元年には回復傾向にある。	ボランティアの登録者数の漸減や新規登録者数の伸び悩みについて、一定の専門性の確保や幅広い年齢層が活用できる内容の検討、若年者層への働きかけなどの取り組みを促していきたい。
	4-② 担い手の確保と育成 1. 登録制度の充実と活用 2. 育成施策の検討・実施 3. コーディネーター養成講座の実施	A	A		A	A	4-②-1 （登録制度の充実と活用） 概ね計画どおり進捗しているものの、一部の制度においては、登録者数の漸減傾向や新規登録者数の伸び悩みが見られるものもある。	
5 市民活動支援機能の充実を図ります	5-① 相談窓口の充実・協働関係機関との連携強化 1. 市民活動及び協働の相談窓口の充実 2. 国・県等主催事業	A	A	概ね計画通り進捗している。 5-①-1 （市民活動及び協働の相談窓口の充実） 必要かつ適切な情報	A	A	概ね計画通り進捗している。 5-①-2 （国・県等主催事業への参加、情報収集・提供）	平時のみならず、災害有事に備え、社会福祉協議会や中間支援団体、庁内関係各課等とさらなる連携強化を図るよう努める。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
5 市民活動支援機能の充実を図ります (つづき)	への参加、情報収集・提供 3. 社会福祉協議会等既存団体との連携・協力した支援等の提供 4. 各団体のニーズに応える中間支援団体との連携・支援			提供を行うなど窓口対応の充実やイベント等での市民活動ボランティアサポートセンターのPRを行っている。 5-①-2 (国・県等主催事業への参加、情報収集・提供) 県内中間支援団体ネットワーク会議等に参加し、情報収集を行い、協働関係機関との連携を強化し、平時のみならず、災害時の連携強化につながるよう努めている。 5-①-3 (社会福祉協議会等			県内中間支援団体ネットワーク会議等に参加し、市内及び県内の中間支援団体等と連携を図っている。災害有事に備えるため、さらなる連携強化が必要である。 5-①-3 (社会福祉協議会等既存団体との連携・協力した支援等の提供) 災害ボランティアに関する取り組み、福祉ボランティア等の育成・支援に関する取り組みで連携を深めている。 平成30年度からは、庁内関係各課も含め、合同で災害ボランティアセンター設置訓練を実施するな	

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
5 市民活動支援機能の充実を図ります (つづき)	5-① 相談窓口の充実・協働関係機関との連携強化 (つづき)			既存団体との連携・協力した支援等の提供) 災害ボランティアに関する取り組み、福祉ボランティア等の育成・支援に関する取り組みで連携を深めている。 平成 30 年度には共同で、庁内関係課とも協力し、災害ボランティアセンター設置運営訓練を行っている。			ど、情報共有や連携に努めている。	
	5-② 様々な財政的支援の活用 1. 市民等からの基金等による市民活動団体への支援の検討 2. 提案型協働事業制度の充実	A	A	5-②-1 (市民等からの基金等による市民活動団地への支援の検討) 市民(企業を含む)からの寄付を中心に、市民が主体となって運営し、市民活動を支援する基金である「市民ファンド」	A	A	5-②-1 (市民等からの基金等による市民活動団地への支援の検討) ふるさと納税を財源とした基金等への積立ての検討を行ったが、特定目的の積立ては困難であるとの回答であった。一方	現状では、新たな財政支援制度の新設は困難であるため、新たな視点での検討が必要である。公益財団法人ひょうごコミュニティ財団の活動等も参考に、情報収集するとともに、引き続き調査研究を行う。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
5 市民活動支援機能の充実に努めます (つづき)	3. 公的団体・民間団体の財政的支援情報の収集・提供、相談対応			<p>について、他都市事例の情報収集等を行うこととしているが、具体的な事例等の検証が進んでいない。</p> <p>5-②-2 (提案型協働事業制度の充実) 平成29年度から、地域夢プラン継承事業の公募型事業を統合し、事業規模が拡大しているが、応募件数が減少するなどの課題が出ている。</p> <p>5-②-3 (公的団体・民間団体の財政的支援情報の収集・提供・相談対応) 様々な助成金情報をひめじNPO・ボランティア通信の別冊</p>			<p>で、新たな一般財源からの基金への積立でも困難な状況であり、具体的な取り組みまでは進んでいない。</p> <p>5-②-2 (提案型協働事業制度の充実) 応募団体が固定化する等の課題もあるが、平成29年度から、地域夢プラン継承事業の公募型事業を統合することで事業規模が拡大し、平成30年度、令和元年度は多数の団体から応募があった。</p> <p>5-②-3 (公的団体・民間団体の財政的支援情報の収集・提供・相談対応)</p>	市民活動団体等のノウハウや活力を生かし、市民参画と協働を進めるため、今後も継続して事業を実施していくが、応募団体が固定化する等の課題に対応すべく、新たな団体が対象となりやすいような仕組みを検討する。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
5 市民活動支援機能の充実を図ります (つづき)	5-② 様々な財政的支援の活用 (つづき)			「助成金情報」において、月1回発行し、情報を提供しているほか、提案型協働事業のPRに努めている。			様々な助成金情報をひめじNPO・ボランティア通信の別冊「助成金情報」において、月1回発行し、情報を提供しているほか、提案型協働事業のPRに努めている。 また、令和元年度には助成金申請の書き方講座も実施するなど、市民活動団体の支援を行っている。	
6 民間相互の協働を推進します	6-① 地域における協働の推進 1. 地域コミュニティ情報の発信支援 2. 地域の多様な主体が連携・協力して課題解決に取り組む場づくり支援 3. 地域コミュニティ	A	B	概ね計画通り進捗している。 6-①-1 (地域コミュニティ情報の発信支援) 市民活動ネットひめじの運用などを行うが、まだまだ登録団体からの積極的な情報掲載にはつながっ	A	A	概ね計画通り進捗している。 6-①-1 (地域コミュニティ情報の発信支援) 市民活動ネットひめじにおいて地域コミュニティ情報の掲載を行うほか、平成30年度からは、市ホー	登録団体が積極的に市民活動ネットひめじを利用していただけるよう継続した取り組みを推進する。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
6 民間相互の 協働を推進 します (つづき)	を主体とした地域 づくりの推進			ていない。 6-①-2、3 (地域の多様な主体 が連携・協力して課 題解決に取り組む場 づくり支援、地域コ ミュニティを主体と した地域づくりの推 進) 窓口での様々な相談 に応じるほか、提案 型協働事業の実施、 市政出前講座等で支 援を継続している。			ムページにて地区単 位での地域資源、行 事の情報発信を行っ ている。 6-①-2、3 (地域の多様な主体 が連携・協力して課 題解決に取り組む場 づくり支援、地域コ ミュニティを主体と した地域づくりの推 進) 市民活動団体が、地 縁系団体の地域課題 への取り組みに参 加・協力できるよう 提案型協働事業のP R、実施を継続して いる。	提案型協働事業を継続して行う他、 地縁系団体と多様な市民活動団 体が、協働して地域課題に取り組むこ とができるような環境づくりの方 策を検討していく。
	6-② 多様な主体との協働の 推進 1. 企業・学校の支援	A	A	6-②-1 (企業・学校の支援 情報や活動情報の収 集・提供) 平成29年度に3カ所	A	A	6-②-1 (企業・学校の支援 情報や活動情報の収 集・提供) 市の進める小中一	

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
<p>6 民間相互の 協働を推進 します (つづき)</p>	<p>情報や活動情報の 収集・提供 2. ひめじおんまつり 等の連携交流会の 開催※再掲 3. 市民活動情報（人 材募集情報）の集 約、提供</p>			<p>の中学校ブロックが コミュニティスク ールに指定され、学校 評議員制度を発展さ せた姫路市独自の姫 路学校運営協議会を 設置し、学校と保護 者、地域住民が一体 となって特色を生か した学校づくりを推 進しているところか ら、これらの活動状 況等の情報収集に努 める。 企業の市民活動団体 とのパートナーシッ プマッチング事業の 検討・実施について は十分な検討が進ん でいない。 6-②-3 (市民活動情報（人 材募集情報）の集約、 提供) ボランティア募集の</p>			<p>貫教育の取組におい て平成30年度から はセカンドステー ジとして、「地域とと もにある学校」への 転換を図り、小中教 職員・保護者・地域 住民による協働実践 を進めており、これ らの活動状況の情報 把握に務めている。 6-②-2 (ひめじおんまつり 等の連携交流会の開 催) ひめじおんまつり等 の連携交流会の継続 的な開催により、登 録団体間の交流の機 会の充実や対話の促 進を図ることができ ている。</p>	<p>ひめじおんまつり等の連携交流会 について、ボランティアに関心のない 市民にも参加してもらうための 方策を検討する。</p>

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
6 民間相互の協働を推進します (つづき)	6-② 多様な主体との協働の推進(つづき)			情報収集、提供。ひめじNPO・ボランティア通信の内容充実・配布先の拡充、市民活動ネットひめじの利用PRのほかボランティア活動の手引きの配布などを行う。				
7 行政との協働を推進します	7-① 市民意識の醸成と行政職員の意識の改革 1. 職員研修の充実※再掲 2. 協働に関する相談体制の充実 3. ひめじおんまつり等の連携交流会の開催※再掲 4. 協働事例集の活用 5. 市政出前講座の実施	A	B	概ね計画通り進捗している。	A	A	概ね計画通り進捗している。 7-①-4 (協働事例集の活用) 平成30年度には、平成24年度から平成29年度実施分の協働事例集を作成し、提供、活用を行っている。	継続して協働事例集の提供、活用をすることで、市民活動団体への理解を深め、その手法を学ぶ機会に繋げるよう努める。

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
<p>7</p> <p>行政との協働を推進します (つづき)</p>	<p>7-②</p> <p>協働を推進するための仕組みづくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 協働のルールづくりの活用 2. 提案型協働事業の充実と効果的な活用 3. 市民活動団体との協働契約や企業とのまちづくりパートナーシップ協定の検討 4. 市民の政策決定過程への参画手法の拡充策の検討・実施 5. 協働機械創出のための行政情報の分かりやすい提供 	A	B	<p>7-②-3</p> <p>(市民活動団体との協働契約や企業とのまちづくりパートナーシップ協定の検討)</p> <p>新たな市民活動団体との協働契約では新たな市民協働へとつなげるための手段等を検討する必要がある、パークマネジメントの手法導入検討などが進められている。また、企業とのまちづくりパートナーシップ協定についても地方創生等の観点から報道機関では神戸新聞社、金融機関の三井住友銀行、大手流通グループであるイオンなどの間で連携協定を締結し、地方創生、地域活性化等の取り組み</p>	A	A	<p>7-②-3</p> <p>(市民活動団体との協働契約や企業とのまちづくりパートナーシップ協定の検討)</p> <p>協働契約についてはパークマネジメントの手法導入検討など個別案件での検討が進められている。また、企業とのまちづくりパートナーシップ協定については、報道期間、金融機関、大手流通グループ、生命保険会社、大学などの間で連携協定を締結し、地方創生、地域活性化等の取り組みを進めている。</p>	<p>企業、大学などとのまちづくり連携協定に基づく事業を進める他、新たな協働体制の整備の検討を進める。</p>

基本指針	施策名	H28 評価	H29 評価	中間評価	H30 評価	R1 評価	H28-R1 進捗状況及び評価	今後の取り組み
7 行政との協働を推進します (つづき)	7-② 協働を推進するための 仕組みづくり (つづき)			を進めることとしている。 7-②-4 (市民の政策決定過程への参画手法の拡充策の検討・実施) 平成 28 年度から姫路創生戦略を推進するにあたり、学生をはじめ多数の若者が交流し、気軽に語り合う、ワールド・カフェ方式を活用し、タウンミーティング「ひめじ創生カフェ」を開催し、市民参画を促進する。 一方、市民シンクタンク事業の検討、無作為抽出式まちづくり参加の機運作り等は進んでいない。			7-②-4 (市民の政策決定過程への参画手法の拡充策の検討・実施) ワールド・カフェ方式のタウンミーティング「ひめじ創生カフェ」を毎年開催する他、市民ニーズや地域における課題に対して関心を高め、市民参画を促進している。 一方、市民シンクタンク事業の検討、無作為抽出式まちづくり参加の機運作り等は進んでいない。	ワールド・カフェ方式のタウンミーティングの継続実施を行う他、新たな参画手法についても、他都市事例等を参考に調査研究を行う。